

歩行者の安全確保の推進を

質問者 小 山 典 男

道路の側溝にかかるふたは、昭和の時代からかわっていないものがほとんどである。従来の側溝ふたがかかっている道路では、幼児や高齢者が、ふたとふたの間にできる穴につまずき、転倒してしまふことがあり危険である。そこで、幼児や高齢者が安全に安心して道路を歩けるような整備を計画的に進めるべきと考えるが、町長の所見を伺う。